

Goudier島のポート ロックロイ

南緯64度49分 西経63度29分 - Wiencke島西方
Port Lockroyに位置する

主な特徴

- ・ Port Lockroyの歴史的な英国基地A
- ・ ゼンツーペンギン
- ・ 氷河の景観



概要

地形	Goudier島は、低く岩がちな小島である。シーズンの始めには、堅固な氷が島の周囲のほとんどを取り囲む。夏季中は、積雪は溶けて後退する。
動物相	繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン (<i>Pygoscelis papua</i>)、サヤハシチドリ (<i>Chionis alba</i>)。ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>) とオオトウゾクカモメ (<i>Catharacta squa</i>) が近隣のBills島で営巣している。カニクイアザラシ (<i>Lobodon carcinophagus</i>) もPort Locheryの一部で繁殖している。 定期的上陸：ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddelli</i>)。
植物相	スミイボゴケおよびイボゴケ種が存在する。イボゴケ種の <i>Verrucaria Serpuloides</i> (世界で唯一の海洋地衣類) がこの地区に限定して見られる。この種が観察できるのは干潮時に約10m深まで露出するためである。ナンキョクカワノリ緑藻はよく見られる。
その他	「基地A」は、環境保護に関する南極条約議定書によって第61南極史跡記念物に指定されている。英国によって生きた博物館として操業されている。Goudier島には、Bransfield House(基地の中心的建物)に加えて、ポート用倉庫、建物の基礎、それに複数の関連工作物もある。

訪問者の影響

既知の影響	基地のスタッフにより、島のゼンツーペンギンの頭数と繁殖成功率が監視されている。訪問者は多いが、群の繁殖行動へのはっきりとした影響は認められていない。
潜在的影響	火災。小規模な燃料漏れ。野生生物および監視プログラムへの攪乱。

上陸要件

船舶*	乗客500名以下の船舶 (訪問者制限事項参照)*。1度に1隻の船舶に限る。 1日あたり (午前0時から翌午前0時まで) 3隻以内。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に下船は1度に60名以内。1日あたり訪問者350名以内。訪問者20名あたりガイド1名。 本島の「基地A」および関連工作物は、英国が所有・管理している。基地の訪問は、基地のリーダーへの事前の承諾をもってのみ可能となる**。基地の内部への訪問者数は、いかなる時でも3~5名以内に限る。 基地住人のプライバシーを尊重すること。基地リーダーの明白な合意なしには、18時から翌朝7時 (現地時間) の間は上陸しない。 可能であれば、探検リーダーはPort Lockroyのスタッフの少なくとも1名を船上に招き、訪問の実行に先立っての概要説明を、乗客および船のスタッフに対して行うようにすべきである。

訪問地区

上陸地区	島の西部の、捕鯨用停泊チェーンの隣のサイトが好ましい (推奨上陸サイト)。そこが使用できない場合は、Godier島の北側、ポート用倉庫の反対側を利用する (第2上陸サイト)。
------	---

閉鎖地区 島の東部はロープを張って、ペンギン監視調査用の未撾乱管理地区である旨が表示されている。基地のリーダーは、監視活動維持のために島の他の地域も立入り制限することができる。

ガイド付き徒歩地区 なし

自由散策地区 訪問者は、基地を起点とした行き来のために整備された二つの経路（地図参照）を使用すること。基地リーダーの許可があれば、訪問者は自由に散策してよいが、閉鎖地区を除いて、至近での監視下でのみ可能である。しかし、本地区の不規則な地形から、ガイドは、訪問者の監視を確保するのはかなり困難である事を承知しておくべきである。

訪問者の行動規範

上陸後の行動 ゆっくりと注意深く歩行すること。

野生動物に道を譲ること。本島には訪問者用制限地区があり、野生動物への撾乱を防ぐための格別の注意が必要となる。

基地の建物、構造物、遺物の周辺では注意すること。島の捕鯨関連工作物を動かしたり、破損したりしないこと。

基地に入る前に、長靴はすべて清浄にすること。可能な限り、衣服やバックパックの雪や湿り気は拭き取らなくてはならない。

展示中の工作物に触ったり、基地在住のスタッフの個人所有物に触れたりしないこと。
喫煙は固く禁止されている。

注意事項 本サイトは特にぬかるんでおり、地面がじめじめして滑りやすい。

*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

**：英国の方針により政府またはIAATO関係の船舶にのみ訪問が許可される。訪問者は自らの責任で基地を訪問し、英国南極調査隊、英国Heritage Trust、英国政府機関のいずれも、いかなる個人の負傷や、財産への損傷に対して責任を負わないものとする。



“基地A” Goudier島、ポート ロックロイ



Goudier島の推奨上陸サイト

